

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 27日	
三重県知事 殿	
提出者	
住所	三重県いなべ市大安町石樽南1025番地
氏名	水谷建設株式会社 代表取締役 水谷 隼
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	0594-78-0030
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量 その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	水谷建設株式会社
事業場の所在地	三重県いなべ市大安町石樽南1025番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06 建設業/ 総合工事業
② 事業の規模	877,000千円
③ 従業員数	23人
④ 産業廃棄物の 一連の処理の工程	水谷建設株式会社から発生した産業廃棄物は、排出を行う前に処理業者の調査、確認を行った上で、処分業者、収集運搬業者と委託契約を結び排出を行う。 ・(がれき類) 収集運搬→中間処理施設(破碎)→販売(再生碎石) ・(木くず) 収集運搬→中間処理施設(破碎)→販売(燃料チップ) ・(金属くず) 収集運搬→中間処理施設(破碎)→再資源化 ・(廃プラスチック) 収集運搬→中間処理施設(破碎)最終処分施設 ・(污泥) 収集運搬→中間処理施設(分級・脱水・天日乾燥・混練)→再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

※環境管理責任者の役割

産業廃棄物処理計画の作成責任者・産業廃棄物管理の責任者・特別管理産業廃棄物及びその他産業廃棄物の適正処理及び管理推進担当者

※管理部門の役割

委託業者に対して事業所から排出する産業廃棄物の性状を通知・委託業者と委託契約の締結・委託業者への処理を発注・マニフェストの運用管理・適正な処理費用の算出

※工事部門の役割

各工事責任者において、処分数量の把握・適正処理の確認を日々行う、日々の処理数量を管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	排出量	
	(これまでに実施した取組)	
	前年度は構造物取壊し及び撤去の工種が少なく、前年度以前に比べて排出量が少なくなっている。	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組)	
	産業廃棄物の排出量の多い工事を施工すると排出の抑制に限りは出てくるが、前年度と同様に各工事発注者と協議を重ね産業廃棄物の抑制に努める。又、優良認定業者を選定していく事で、より適正な処理に努める	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各現場において、がれき類、金属くず、木くず、廃プラ、汚泥等に現在分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設混合廃棄物を細かく分類し排出を行っていくことで、少量でもリサイクルできるように努める。又、有筋コンクリートを細かく破碎し、鉄くずと無筋コンクリートに分類して排出を行う

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 該当なし。	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 該当なし。	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】		
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし。		
②計画	【 目標 】		
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【 前年度実績 】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。	
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(これまでに実施した取組)		
	環境マネジメントシステムに基づき建設廃棄物処理業調査を行う 優良認定業者をできる限り選定し、調査を行っていく 調査は工事着手前及び廃棄物処理前に行い、産業廃棄物の処理能力があると判断した後、調査票を作成する 調査票を作成した後、処理業者と委託契約を結び、排出する		

②計画	【 目標 】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。	
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(今後実施する予定の取組)		
	前年度と同様に各委託先の建設産業廃棄物処理業者調査を事前に行い、処理能力を確認した後、調査票を作成し、排出する予定とする		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7  欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います 記入不要です

項目 \ 廃棄物の種類 \ 現状/計画			ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	合 計 量
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	13号廃棄物	建設混合廃棄物	(t)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績																						0
		今年度目標											2000											2000
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に に関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績																						0
		今年度目標											2000											2000
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績																						0
		今年度目標											2000											2000
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																						0
		今年度目標																						0
	⑩のうち認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																						0
		今年度目標																						0

(注)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第2号の9)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。記入しても差し支えありませんが、その際は、様式第2号の9 別紙2の報告数値と一致していることを確認してください。

(参考)

各項目の白抜き番号は、様式第2号の9 別紙2の項目番号です。